

埼玉県知事・さいたま市長の意見交換会／結果概要

1 森林環境譲与税の活用について

- 県では「埼玉県山とまちをつなぐサポートセンター」を設置し、都市部と中山間地域の市町村が協力して森林整備や木材利用等を行うマッチングや、木造建築技術アドバイザー派遣制度による県産木材を活用した公共施設の木造化などの取組を支援している。今後もオール埼玉で森林資源を積極的に活用する「活樹」に取り組んでいく。
- さいたま市でも、森林環境譲与税を活用した公共施設の木造化・木質化を引き続き推進するとともに、中山間地域との連携取組の充実について検討を行っていく。県は必要に応じ県内中山間地域とのマッチング支援を行う。

2 臓器提供の推進に係る普及啓発及び骨髄ドナー登録の拡大について

- 臓器や骨髄の提供件数やドナー登録者は増加しているが、提供される臓器、骨髄の数が追いついていない。特に、骨髄ドナー登録者はボリュームゾーンの高年齢化が進み、若者層のドナー登録者の確保が課題となっている。
- 包括連携協定を締結している大学への県市共同での働き掛けに加え、二十歳の集いや昨年7月31日にスタートした「さいたま市みんなのアプリ」での周知活動を行うなど、県市連携・協力して啓発強化を図るとともに、献眼登録や臓器提供意思表示についても協力して周知を行っていく。

3 ゼロカーボンシティ実現に向けた更なる連携強化について

- さいたま市では、家庭部門における温室効果ガス削減強化の取組として、太陽光発電設備等共同購入事業を実施している。県でも、先行事例の実施状況や課題を確認しながら、他の自然エネルギーを推進する施策と同様に検討を行う。
- 県民・市民に対する地球温暖化対策の効果的な意識啓発のため、県市共同でイベントや啓発活動を実施していく。